答申第 812 号

情 公 第 1521 号

令和 7 年 7 月 14 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県情報公開審査会

会 長 田 村 達 久

行政文書公開拒否処分に関する審査請求について（答申）

令和 6 年 11 月 20 日付けで諮問された特定市街地再開発事業に関する文書公開拒否（文書不存在）の件（諮問第 911 号）について、次のとおり答申します。

1 審査会の結論

実施機関である神奈川県知事が、審査請求人からの令和6年7月22日付け行政文書公開請求に対し、文書不存在を理由に公開拒否決定を行ったことは妥当である。

2 審査請求に至る経過

- (1) 審査請求人は、神奈川県情報公開条例（以下「条例」という。）第9条第1項の規定に基づき、令和6年7月22日付けで、神奈川県知事（以下「実施機関」という。）に対して、別表に掲げる文書（以下「請求対象文書」という。）について、行政文書公開請求（以下「本件請求」という。）を行った。
- (2) 本件請求に対し、実施機関は、条例第10条第4項の規定に基づき、令和6年8月5日付けで、本件請求に対する諾否の決定期間を延長の上、令和6年8月20日付けで、文書不存在であるとして、条例第10条第3項の規定に基づく公開拒否決定（以下「本件処分」という。）を行った。
- (3) 審査請求人は、行政不服審査法第2条の規定に基づき、令和6年10月1日付けで、本件処分の取消しを求める審査請求を行った。

3 審査請求人の主張要旨

- (1) 本件請求は、審査請求人が本件請求と同日付けで行った別の行政文書公開請求にて請求した「第11号様式（別紙）積算の内訳」（以下「積算の内訳」という。）以外の行政文書を請求するものである。
- (2) 「積算の内訳」の文書データは、「（特定地区）補助金における消費税の内容（参考）」（以下「消費税の内容」という。）と題するPDFファイル内に記録されているが、こうした状況下（状態）からすれば、当該PDFファイルには、「積算の内訳」の文書データのみならず、「消費税の内容」とのファイル名称に紐づけされたその他の文書データも存在するはずである。
- (3) 本件請求に係る行政文書公開請求書（以下「本件請求書」という。）に記載した「なお書き」の後段から明らかなように、審査請求人が本件請求に

において公開を求めるPDFファイル（公開請求対象に係る行政文書が保管されているファイル）とは、実施機関が特定する「積算の内訳」が保管されている「消費税の内容」のみではなく、当該「消費税の内容」を含む大項目のファイル、例えば、名称を「特定地区第一種市街地再開発事業関連」とか「特定地区市街地再開発組合関連」とする事業全体の資料を保管するファイルであることから、実施機関が請求対象文書を「積算の内訳」と特定するのであれば、実施機関は、当該「積算の内訳」が保管されている「消費税の内容」は、その他の関連資料を保管するファイルとは独立して、単体として作成されたPDFファイルに保管されていることを証する責務を負うところ、実施機関は、それらに係る説明を理由付記することなく、「消費税の内容」には、「積算の内訳」しか保管されていないとして、当該「積算の内訳」のみを公開するのであるから、本件処分は理由付記の欠陥により破棄は免れず、したがって、実施機関は、審査請求人に対し、特定地区第一種市街地再開発事業関連のPDFファイルに保管されているすべての行政文書を公開する義務を負うものである。

4 実施機関（担当：県土整備局都市部都市整備課）の説明要旨

本件請求に対し当課が特定したのは、特定市の進達により、特定地区市街地再開発組合から徴取した「積算の内訳」（紙媒体は廃棄済み）を当時の担当者がメモの代わりとしてスキャンし、保管していたPDFファイルである。当該ファイル名は「消費税の内容」、保管されている内容は「積算の内訳」であり、当該PDFファイル全体のページ数は1ページのみだった。本件請求内容は、「『積算の内訳』を保管するPDFファイルに保管されている『積算の内訳』以外のもの」とされており、当該PDFファイルには「積算の内訳」以外のものは存在しなかったことから、条例第10条第3項に基づき、文書不存在であるとして公開拒否決定を行った。

5 審査会の判断理由

(1) 行政文書の探索の妥当性について

本件請求に対して、実施機関は、「消費税の内容」と題されたPDF

ファイルには、「積算の内訳」と題する文書データ以外の文書データは含まれていないとして、文書不存在を理由とする公開拒否決定を行った。

一方、審査請求人は、「消費税の内容」には「積算の内訳」以外の文書データが存在する旨主張しており、行政文書の探索に争いがあることから、本件処分における行政文書の探索の妥当性を検討する。

当審査会が「消費税の内容」を見分したところ、「消費税の内容」には「積算の内訳」と題する文書データのみが記録されており、その他の文書データの存在は認められなかった。

したがって、本件請求に対して、実施機関が文書不存在を理由に公開拒否決定を行ったことは妥当である。

(2) その他の主張について

審査請求人は反論書において、「審査請求人が本件請求において公開を求めるPDFファイルとは、『消費税の内容』を含む大項目のファイルなどの事業全体の資料を保管するファイルである」旨主張している。

しかしながら、本件請求書の「公開請求に係る行政文書の内容」欄には、「『積算の内訳』を保管するPDFファイルに保管されている積算の内訳以外のもの」と記載されており、かかる記載から事業全体の資料を保管するファイル内に含まれる全ての行政文書の公開を求める趣旨と解するのは困難といわざるを得ないため、審査請求人のかかる主張は採用できない。

6 審査会の処理経過

当審査会の処理経過は、別紙のとおりである。

別表

特定地区第一種市街地再開発事業につき、特定市の進達により、特定地区市街地再開発組合から徴取する「第 11 号様式（別紙）積算の内訳」を保管する PDF ファイルに保管されている当該第 11 号様式（別紙）積算の内訳以外のもの

以上

なお、当該第 11 号様式（別紙）積算の内訳とは、同日付け「行政文書公開請求書」において公開請求をする行政文書であり、それ以外のものとは、同一の PDF ファイルに保管されている行政文書の全てを指定することから、当該 PDF ファイルが大小を包含する場合には、大小仕分けの項目名等を書面で教示頂ければ、必要箇所ないし限度の項目名（ファイル名）を補正致します。

別 紙

審 査 会 の 処 理 経 過

年 月 日	処 理 内 容
令和6年11月20日 (収受)	○ 諮問
令和7年5月15日 (第256回部会)	○ 審議
令和7年6月26日 (第257回部会)	○ 審議

神奈川県情報公開審査会委員名簿

氏 名	現 職	備 考
板 垣 勝 彦	横浜国立大学大学院教授	部 会 員
岩 田 恭 子	弁護士（神奈川県弁護士会）	部 会 員
桑 原 勇 進	上 智 大 学 教 授	会長職務代理者 （部会長を兼ねる）
釧 持 麻 衣	関東学院大学准教授	部 会 員
田 所 美 佳	弁護士（神奈川県弁護士会）	
田 村 達 久	早 稲 田 大 学 教 授	会 長
前 田 康 行	弁護士（神奈川県弁護士会）	

（令和7年7月14日現在）（五十音順）